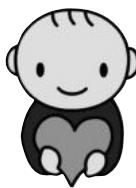


こ・こ・ら・ぼ
～じゅうのコトバプロジェクト～



スクールサポーター
(臨床心理士・公認心理師)
小林 真理

できたり嬉しい

「やつても無駄だし」「できなからやらない」「どうせわからないもん」と、授業中話を聞いていないように見える、やればできるはずなのにサボっているように見える、何度も声をかけてもやらないなど、注意や叱責を受けやすい子どもがいます。

こういった子どもは時に「困った子」という捉えをされてしまします。でも、「なぜそうなってしまうのか」「どうしてその態度になつているのだろうか」ということに目を向けてみると、「困った子」は「やりたいのにできない」やつてもできない」を重ねてきた「困っている子」だつたりします。そして、そういう子は往々にして困っていることを自覚しておらず、言えない今までいることがよくあります。

以前に授業参観に行つてた際に、机に伏せていたり、ぼーっとしている子がいました。

た。とりあえず「やつてる姿はあるのですが、明らかにやる気はみえません。近くにいてみると、書いているのかもの、何を書いているのかわかりません。単純に「字がきたない」という次元ではな

いのは本末転倒です。自信をつけていた子ども達の中に、時間はかかるけど自分で書いてみたい」と学びに自分で書いてみたい」と学びに對なった子もいます。

同じように「読みでいる」のに、「なんて書いてあるの?」と聞いてくる子もいました。読み上げてみると「あ、

かからない」とこつそり教えてくれました。そこで、□頭で収まらず、本人に聞いても「自分でもなんて書いてあるかわからぬ」とこつそり教えてくれました。そこで、「やつても無駄だし」「できなからやらない」「どうせわからないもん」と、授業中話を聞いていないように見える、やればできるはずなのにサボっているように見える、何度も声をかけてもやらないなど、注意や叱責を受けやすい子どもがいます。

その後、保護者や関係教諭と相談をしたり、本人への検査や面接を重ねていき、この子は宿題やテストの際に「タブレット」を代替手段として使っていくということになりました。数年が経つて、国語のテスト（みんなと同じもの）と、その答えを打ち出したものを直接にもつてきてくれたことがあります。内容は完璧です。多分、完璧にできましたから嬉しくて見せに来てくださいからやらないくなる」とやさしく言っています。

この状態が長く続くと、「やらないからできなくなる」「できないからやらないくなる」という悪循環を引き起こしやすくなってしまいます。勉強が全くできませんが、やつていることは間違いない「学び」です。「書く」と「打つ」で違う

ということになるのです。(実際に長期欠席の中高生ではLDの割合が高い、というデータもあります)

ある時、小学校高学年の子が教室でタブレットを使つことをためらっていました。「目の悪い人はメガネをかけたりするじゃない? それはみんな何も言わないので…」と私

が言ったところ、「眼鏡はか

けててもみんな何も言わない

し、みんなと違うって思われないけど、自分だけタブレットはそうじゃないんだよ。まだ当たり前じゃないんだよ」と返つてきました。

自分で書きたい・読みたい、

「できるようになりたい」け

ど、違う手段に対しても「み

なと違うのは恥ずかしい」「み

んなからどうみられるか心

配」「できないとバカにされ

そう」と、タブレットやフリ

ガナに踏み込めない子どももも

います。

私たち一人ひとりがしと

代替手段の必要性を理解し、

必要な子どもにはタブレット

やフリガナが当たり前の環境

にしていくといいですね。

※学習障害／LDは限局性学習症／限局性学習障害とい

う正式名称で、知的な遅れ

や偏りがないにも関わらず、

読み・書き・計算において著

しい困難を抱えている状態を

あります。

一輪車教室を開催します

と き	7月2日(土)	主 催	中部小学校 体育館	講 師	枠形一輪車クラブ	参 加 対 象	児童館みらい子育て クラブ 軽井沢
申 し 込 み	9時から11時まで	定 員	小学6年生まで	持ち物	一輪車・上履き	※定員になり次第締め切り ます。	飲み物

5月17日(火)から6月28日(火)まで最寄りの児童館へ直接申し込んでください。
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となる場合があります。



【問い合わせ】

長倉地区児童館

番号
46-2187